

経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の向上

【めざすべき将来像】

豊かなコミュニティをさらに強めていただき、区民の皆様の自律的な地域運営を推進し、サークル活動などが活発な、にぎわいあるまちづくりの取組を進める。
まちの魅力が高まり、区民の皆様が地域に愛着や誇りをさらに持っていただけるまちをめざすとともに、多くの人々が訪れる活気のあるまちをめざす。

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

- ・地域団体やNPO、企業等地域のまちづくりに関する様々な活動主体が幅広く参画し、民主的に開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域運営に取り組む活動を積極的に支援するため、自律的に地域課題の解決に取り組む地域活動協議会の運営支援に取り組む。
- ・生涯学習関連団体や区民ボランティア、社会教育関係団体等と連携した取組を進める。

具体的取組

- 1 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進
- 2 スポーツ・文化等によるコミュニティの育成
- 3 生涯学習の推進
- 4 人権施策の推進

戦略3-2 地域資源を活用したまちの魅力づくり

- ・「旭区ブランド」等の認定やそれを活用したイベントの開催など、「区の魅力を高める」「区の魅力を知ってもらう」ための取組を、区民と連携して進めながら、区全体を活性化していく。

具体的取組

- 1 まちの魅力を高める取組

19

担当：
地域課

経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の向上

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

指標

地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合

目標値 85%以上

達成状況 85.3 %



取組実績

- ・コロナの影響により中止・休止を余儀なくされている活動の再開に向け、実施手法や感染予防策等、具体的な提案・助言を行った。
- ・コロナ禍における地域活動（再開状況）をテーマに地活協従事者向け情報交換会を開催した。

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進



地域のお祭りの様子



20

経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の向上

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

具体的取組3-1-2 スポーツ・文化等によるコミュニティの育成

指標

コミュニティ活性化のための各種催しを知っていると区民アンケートで答えた区民の割合

目標値 90%以上

達成状況 86.6%

未達成

取組実績	課題や改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・区民まつりはコロナ禍の影響により開催日直前で中止 ・スポーツフェスティバルの代替事業として スリーアイズ大会を開催 (参加チーム数：8団体、参加者数：約100人) ・旭区総合文化祭を開催 (「映画まつり」開催(参加者数：約50人)、 「子どもお祭り広場」開催(参加者数：約240人)、 「旭区文化芸術発表会」開催(参加団体数：15団体、 参加者数：約250人) ・旭区文化芸術振興連絡会でこども合唱講習会を開催(8回) 	<p>【課題】 催しにより認知度に大きな差があることから、全体的に認知度が向上するよう効果的な広報活動に取り組む必要がある。</p> <p>【改善策】 引き続き、各種催しの広報について、区ホームページ・区広報紙等に加え、SNSの積極的な活用等、効果的な広報活動に努める。</p>

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進



21

経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の向上

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

具体的取組3-1-3 生涯学習の推進

指標

参加者アンケートにおいて、生涯学習講座へ参加することで人と人がつながり、コミュニティの活性化に寄与すると感じると回答する人の割合

目標値 80%以上

達成状況 83%

達成

取組実績

- ・生涯学習推進員旭区連絡会を開催(11回)
- ・生涯学習ルーム事業を実施(全10小学校下)
- ・生涯学習ルームフェスティバルを開催(R5.3.5)



生涯学習ルームフェスティバル

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

経営課題3 地域コミュニティの活性化と
まちの魅力の向上

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

具体的取組3-1-4 人権施策の推進

指標

人権啓発事業の参加者アンケートで、人権に対する理解が深まったと回答した割合

目標値 80%以上

達成状況 99%



取組実績

- ・「じんけんあさひ」を発行（12月）
- ・ふれあいシアターを開催（12月）
- ・大阪市人権啓発推進員旭区連絡会を開催（5回）
- ・大阪市人権啓発推進員旭区連絡会研修会を開催（3月）
- ・にはんご教室を開催（44回）
- ・人権相談窓口を設置



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

じんけんあさひ第25号

23

経営課題3 地域コミュニティの活性化と
まちの魅力の向上

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

戦略3-1の成果指標

アウトカム指標の達成状況

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合《地活協の構成団体へのアンケート》

目標 令和4年度までに88%以上



達成状況 87.2% 未達成

課題	今後の対応方向
コロナ禍により多くの地域活動に制限がかかる状況が続いていたため、活動そのものが従来どおりに実施できていなかった。活動は再開しつつあり、引き続き、活動の再開に向けた支援が必要である。	地域には徐々に活動を再開していただいているところであり、区として、より多くの再開に向けた支援をはじめ、活動のさらなる活性化のために各地域に応じたきめ細かな支援に引き続き努めていく。

戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進

24

経営課題3 地域コミュニティの活性化と
まちの魅力の向上

戦略3-2 地域資源を活用したまちの魅力づくり

具体的取組3-2-1 まちの魅力を高める取組

指標

イベント等の取組が旭区の魅力を高めることに寄与すると感じる参加者の割合
《参加者アンケート》

目標値 70%以上

達成状況 95.6%



取組実績

- ・魅力ある城北公園で楽しむにぎわいイベント 1回（あさひファン★フェスタ）
- ・商店街や地域などのイベントの広報 22回（HP・チラシ等）
- ・旭区ブランドの認定及び活用
お宝27件認定、6月・11月のイベントやYouTubeで活用
- ・区の魚（イタセンパラ）の保全活動 1回 PR 27回
- ・小学校での花菖蒲栽培 7校参加
- ・音楽を通じたにぎわいイベント 2回
(音楽の祭日2022inあさひ、第17回旭ミュージックフェスタ2022)
- ・あさひ、だいすき♪『旭区検定』の実施 1回
- ・大阪工業大学との連携事業の推進 9件



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

あさひファン★フェスタの様子

25

経営課題3 地域コミュニティの活性化と
まちの魅力の向上

戦略3-2 地域資源を活用したまちの魅力づくり

戦略3-2の成果指標

アウトカム指標の達成状況

地域の賑わいや活性化が進んだと思うと区民アンケートで答えた区民の割合

目標 令和4年度までに80%以上

達成状況 57.1% (未達成)

課題	今後の対応方向
コロナ禍で制約がある中、イベントの規模化や分散化といった実施上の工夫をしたほか、SNSの活用などの魅力向上の取組を行った。社会全体のコロナ禍の影響などから、期待していた効果には至らなかった。	コロナ禍の制約下で行った実施上の工夫や知見を活かしつつ、城北公園や商店街などの地域資源を活用しながら、取組の原点である旭区の楽しさや住みやすさを実感してもらえるよう、区民の皆様とともに作り上げるイベント等を充実させてまちの魅力向上に取り組む。

戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効でないため、戦略を見直す

26

経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

【めざすべき将来像】

地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限に止めることができる地域防災体制を確立するとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。関係機関や地域と協働し、犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりをめざす。

戦略4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実

- ・地域ごとの特性や熟度に応じた防災体制づくりを進める。
- ・災害時の初動に強い自助・共助（ご近助）の地域づくりをめざし、防災教育や防災意識の啓発を進めるとともに、必要な防災物資の配備を計画的に実施する。

具体的取組

1 地域防災・減災力の強化

戦略4-2 地域防犯力の強化

- ・防犯パトロール活動や防犯啓発を実施するとともに、区民による防犯ボランティア活動を支援することにより自主防犯活動の意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりの取組を進める。特に防犯カメラの計画的な設置や自転車盗対策の強化について、警察署等と連携しながら重点的に取り組む。
- ・交通マナーの向上や、「交通事故をなくす運動旭区推進本部」による交通事故をなくす取組、放置自転車・自転車のマナーアップの取組を継続して実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりの取組を進める。
- ・やなぎ通りの歩行者・自転車の安全・安心をめざし、平成28年度に旭郵便局前に区役所が管理する駐輪場を整備した。今後、警察・建設局・地域・周辺事業者の協力を得て、やなぎ通りの歩道にある自転車を無くす。さらに、やなぎ通りを自転車の安全通行モデル路線として整備していく。

具体的取組

1 防犯・交通安全の対策

担当：
防災安全課

経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

戦略4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実

具体的取組4-1-1 地域防災・減災力の強化

指標

各家庭において、防災対策をとっていると区民アンケートで答えた区民の割合

目標値 85%以上

達成状況 74.8%

未達成

取組実績

- ・防災啓発
防災啓発講座 17回（受講者延べ435人）
広報あさひにおける防災関連情報の掲載、「防災特集号」による防災啓発（10月）
- ・防災訓練
避難所開設訓練を含む防災演習・ワークショップ 23回
地域防災リーダー訓練(地域一体型防災訓練)を各校下で実施 6校下
区職員防災研修(ラーニング形式)の実施
地域の避難所開設運営訓練において区医師会との連携訓練
- ・地域や関係機関等との連携
地域防災担当者合同連絡会の開催 7回
- ・旭区防災教育事業
大阪公立大学と連携し、区内全4中学校で中学生防災教育プログラムを実施
- ・防災拠点の整備・充実
コロナ対策用間仕切り（テント）を各避難所に配備
- ・初期消火体制の維持
消防法による大型粉末消火器の自主点検 15台（設置105台）
- ・空家等対策
空家相談員を活用した空家に関する個別相談会の実施 11回

課題や改善策

【課題】
防災啓発講座や地域での防災訓練においては、感染症対策を講じたうえで予定どおり実施したもの、コロナ禍以前の規模で実施することができなかった。防災啓発のための広報については、広報紙への関係記事の掲載にとどまった（掲載はほぼ毎月実施）。

【改善策】

平常に戻りつつある状況であることから、防災啓発講座や防災訓練については、これまで通りの感染症対策を講じながら、地域の協力のもとで、より多くの人々に参加いただけるよう働きかける。
防災啓発については、区内の広報板への掲示やSNSによる防災情報の発信を行う。

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

戦略4-1 の成果指標

アウトカム指標の達成状況

旭区地域防災計画に基づき、自主防災組織等地域主体による
地域実情に即した訓練など防災活動を実施した地域

目標 令和4年度までに全10地域



達成状況 10地域

戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進

29

担当：
防災安全課

具体的取組4-2-1 防犯・交通安全の対策

指 標

防犯教室もしくは交通安全教室が、それぞれ
犯罪から身を守ることや交通安全の維持・向
上に役立つと感じる主催者（学校等の各種団
体）の割合

目標値 80%以上

達成状況 100%



取組実績

- 防犯対策
 - 青色防犯パトロール 69.5回
 - 子どもの安全巡回パトロール 200回
 - 防犯教室事業 14回
 - 防犯カメラ設置 4台
- 交通安全、自転車のマナーアップ及び放置自転車対策
 - 区民参加の街頭啓発等 12回
 - 自転車のマナーアップや放置自転車対策としての啓発 11回
 - 自転車検問と指導 34回
 - 自転車関連の内容を中心とした交通安全教室（子ども、高齢者、
子育て世代）の開催 3回
 - やなぎ通りや駅など効率的な自転車撤去の実施 対象駅7駅 撤去188回



戦略に対する取組の有効性

交通安全にかかる街頭啓発

有効であり、継続して推進

30

戦略4-2 の成果指標

アウトカム指標の達成状況

区内の重点犯罪（自転車盗を含む）

発生件数

目標 令和4年度までに400件以下



達成状況 285件



区内の自転車交通事故発生件数

目標 令和4年度までに80件以下



達成状況 70件



戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進